



那久の夕日と太公望

総合誌

おきのしま
隠岐の島



OKINOSHIMA TOWN PUBLIC INFORMATION

◆人口 16,948(-24)人 男 8,043(-9)人 女 8,905(-15)人 世帯数 7,377(-6)戸

(平成19年2月1日現在、カッコ内は前月比)

● 「島の集落研修会」発表事例に学ぶ

地域の活性化は「元気印」の集落形成から 『島の集落研修会』弘発表事例に学ぶ

2月1日(木)、離島地域の集落の現状と課題を調査分析することにより、「元気印」の集落形成をめざそうという目的で、「島の集落研修会」が開催されました。会場となった隠岐の島町ふれあいセンターには、住民、県・町職員合わせて150人余りが参加し、今後の集落のあり方について学習を深めました。

隠岐の島町の集落の現状と課題

隠岐の島町の人口は5年間で1141人(6.3%)減少しています。

個々の集落についても、市街地周辺地域で住宅の建設等により人口の増加した集落が見られるものの、多くの集落で人口の減少と高齢化が進んでいます。このまま進むと、地域の共同作業や祭事等の集落活動へ影響を与えるものと予想されており、今後、地域と行政が協働して集落の活性化を進めていくことが急務となっています。

この課題をどう解決していくかについて、島根県中山間地域研究センターの研究者からは、先進地事例等を交え、次のような提言がありました。

「地域資源を活かした持続可能な「自給型集落」を形成し、その資源を活かした産業展開を図ることが必要となっています。これからの地域コミュニティは、

世帯の集合体ではなく、住民個々の集合体であり、若者・女性・子どもにも活躍の場が保障される「1人1票制」であるべき。そのためには、立役者として、複数の人材が「リーダー群」をつくり活動を進めていくことが肝要です。」

さらに、研修会後半では、隠岐の島町において個性的な集落形成を進めている地域の事例が紹介されました。

不便さを地域らしさに変えて(中村)

役場定住対策室の岡田清明室長より、「自立への挑戦」武良づくり企画」と題し、中村地域の住民や各種団体の連携による手作りの地域づくりについて発表がありました。

「不便さや自然のままであることが武良らしさであり、それを資源として捉える」という視点で、地域らしさを創出する様々な取り組みが行われています。

地域の資源を活用しながら「自分たちの地域は自分たちで考え、自分達が主役となって楽しく参画できる」集落形成を目指しているのがこの地域。

地元でとれる食材を使った特産品の開発や食事の提供を行う「さざえ村」を核にして、自治会や様々なグループが連携し、地産地消、産業振興、観光・交流などを目的

とした手作り事業を展開しています。特産品の販売や古民家等地元にある資源を活用したイベントを行う「ゲンキ市」、住民がアイデアを出し、自ら実施主体となり地域の環境を整備していく「武良ハートフル大作戦」、ヒマワリ畑で有名になった「ポレポレ文化村」など、実に多彩でユニークな活動がみられます。

地域課題をビジネスにつなげるようなコミュニティグループを集落の拠点ごとに展開することにより、武良が「小さな自治体」となることを目指し、中村地区の挑戦は続きます。

古民家を利用し くつろぎの空間を創出(釜)

続いて、役場観光商工課の鳥井登主幹より、古民家を使った集落活性化への取り組みが紹介されました。

釜地区は、15世帯35人(平成19年1月末現在)という小さな集落ですが、この集落に、江戸末期に建てられ、当時の形式をそのまま残す古民家「佐々木家住宅」(国の重要文化財)があります。ここに訪れる観光客に、この民家を利用し、食事やくつろぎの空間を提供しているのが、釜地区の皆さん。

「ベコ(アメフラシ)」「サザエご飯の巻き寿司」「押し寿司」など、旬のものを普

段自分たちが食しているそのままのスタイルで大皿に盛り提供する、それがこの信念。築170年の歴史を物語る太い大黒柱や高い天井、広々とした空間の中、ゆったりと流れる時間を満喫するスタイルは、観光客に大好評。昨年4月から11月までの入館者は2174人で、そのうち554人もの人に食事を提供し、早くもリピーターまで現れたそうです。

島外の人たちが求めていたものは、都会にないもの。実は飾らない普段どりの島の暮らしだったのです。

※釜地区の取り組みは、月刊誌「しま」1月号に鳥井主幹執筆で詳しく紹介。

活力あふれる集落をめざして

集落の自立を図るためには、地域を経営するという意識が不可欠ですが、何か特別なことをするのはなく、「自分たちがやりたいこと、すぐ出来ることを自分たちのスタイルで」という気持ちで取り組んでいる両地区。4町村合併後の地域のあり方としてひとつのモデルとなる事例といえます。

個々の地域が抱える課題は、簡単に解決するものばかりではないかもしれませんが。しかし、住民一人ひとりが自分たちの住む地域のことを思い、地域の個性を活かしながら自治活動をすすめることで「元気ある集落」そして、地域活性化に向けた第一歩が踏み出せるのではないのでしょうか。

隠岐の島 NEWS FLASH

100万回の数珠まわし 1/20

1月20日(土)、今津地区の完全寺で恒例の「念仏会(ねぶつえ)」が行われました。先祖の冥福・家内安全・豊漁豊作な



太鼓の音が鳴り続ける独特の雰囲気の中、行われます

どを願って地区の女性が集まり、長さ約16メートルの大数珠をひたすら回し続けるというめずらしい行事です。

数珠をまわす回数は100万回ですが、1回を1000回と数えますので、実際にまわすのは約1000回。昼食休憩を挟んで朝8時半頃から午後2時頃まで、延々と数珠をまわし続けます。

数珠の箱書によれば、弘化4年(1847年)正月吉祥日初祈祷会之日とあり、今から約160年前にはすでに行われていたこととなります。廃仏毀釈の影響で仏教関係の行事はあまり残っていない隠岐の島町にとって、貴重な行事と言えるでしょう。

大学入試センター試験 初めて隠岐で実施 1/20~1/21

1月20日・21日の2日間、隠岐地方で初となる大学入試センター試験が、県立隠岐高校で行われ、58人が受験しました。



隠岐での受験は、受験生本人だけでなく保護者にも歓迎されたようです

これまでは5泊6日で島根大学試験場まで出向いて受験せざるを得なかった隠岐の受験生ですが、今回から経済面にも体力・精神面でも負担が大きく軽減されることになりました。

自然に感謝し一年の豊作を祈る 都万目の荒神さん 1/21

1月21日(日)、都万目で荒神さんを祀る行事が行われました。荒神さんは、山や農業の神として、また地域神として崇敬されているもので、県内にこの信仰は



昨年と違い、今年は好天に恵まれました

多くみられます。

午前8時前、地域の人たちが、荒神さんにお供えする大蛇を作るため、作業小屋に集まってきました。蛇は、持ち寄った藁を編んで作ります。

出来上がった蛇は集会所の広間に運び、とぐるを巻かせて供え、お神酒を供えま

す。全員でお神酒をいただく、今度は、旧神社境内にある櫓の木まで大蛇を運びます。

山の中腹まで運ぶと、大蛇を櫓の木に巻きつけお供えし、今年1年の安全や豊作をお祈りしました。

古くから続くこの荒神さん、山に囲まれた美しい地。都万目。ならではの素朴で静かな行事でした。

平成18年度島根県功労者表彰 町からは4名の方が受賞

平成18年度の島根県功労者表彰が行われ、隠岐の島町から4名の方が表彰を受けられましたので紹介します。

■佐々木菊雄さん(地方自治功労)
元 旧西郷町議会議員
長年町議会議員として地方自治の伸展に寄与されました。

■森脇 忠雄さん(地方自治功労)
元 旧五箇村議会議員
長年村議会議員として地方自治の伸展に寄与されました。

■本井 幸枝さん(保健医療福祉功労)
元 隠岐広域連立立隠岐病院総婦長
長年助産師として母子保健の推進に努め地域保健の向上に寄与されました。

■湊 好男さん(農林水産功労)
元 西郷漁業協同組合理事
長年漁業協同組合の役員として経営を支えるとともに水産業の振興に寄与されました。

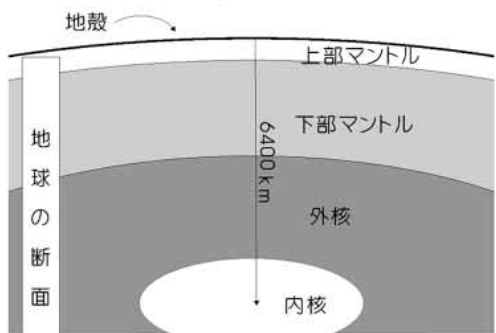
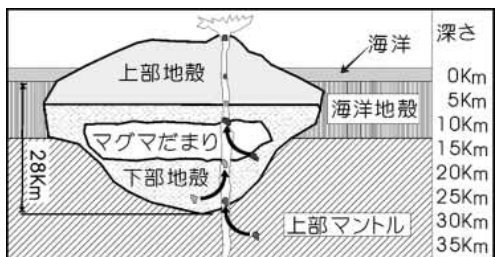
わがところ知っとこ

第3回 自然編vol.2

隠岐の石ころから地球の中が見える!

地球の中心までは約6400kmもあります。最近、世界中の科学者が地球の中を調べようと色々な場所で地面を掘り始めています。でも掘るにはお金も時間もかかりますし、現代の技術では10kmくらい掘るのが限界です。そこで、数名の研究者によって、隠岐の石ころから地球の中をのぞいてみるという試みがなされました。

1. 深いところには何があ
2. 深いところの温度はどの
3. 日本列島の根っこはどの



す。緑色の石ころです。多くは隠岐島後の黒島で見つかりました。実はこのような緑色の石ころは地球の深い所に沢山あると考えられている石ころなのです。地球の中は大きく三つの部分に分けられます。一つは地球の真ん中にある核と呼ばれる鉄でできている部分。そして私たちの地面は地殻と呼ばれ、10kmから40kmくらいの厚さを持つています。核と地殻の間にはマントルと呼ばれる部分があり、地球の体積の80%以上もあります。黒島で見つかった緑色の石ころは、その色や成分から、このマントルから運ばれてきた石ころだったのです。緑色の石ころは溶岩によって運ばれてきました。その時代は、研究者によって、黒島火山の噴火した一千万年前頃と解明されました。

また、石ころに含まれる4種類の鉱物の元素の量を詳しく調べた結果、黒島で見つかったマントルの石ころはおよそ1000度位の温度を持つていたことが分かりました。そして最後の謎、どのくらいの深さから運ばれてきたのか? 7年にわたる研究の結果、石ころの中に閉じ込められていた二酸化炭素の泡の圧力を調べることから、深さ28kmから運ばれてきたことが分かったのです。これほど正確に地球の中の温度と深さを調べた研究は世界で初めてのことだそう。世界にはたくさん火山があり、その中にはマントルや地殻か

ら運ばれてきた石ころが時々見つかります。隠岐と同じように「石ころが運ばれてきた深さを決める方法」を用いて深さを決めていけば、地球の中がどんなのはっきりしてくるでしょう。世界初の事例として、隠岐はその出発点になったのです。

●研究を行った方

山本順司(京都大学)・鍵裕之(東京大学)・川上曜子(東京都庁)・平野直人(東京工業大学)・中村雅基(気象大学校)

●文・イラスト

八幡浩二(隠岐自然倶楽部)

四・季・菜レシピ

季節の野菜の健康レシピ

里芋とイカの煮物ゆず風味

熱量	たんぱく質	脂質	塩分	カルシウム
94kcal	6.6g	0.4g	1.2g	45mg

※ 1人当り栄養価
このレシピで取れる野菜の量 約120g
一日に必要な野菜の量 350g

15分

材料(2人分)

- 里芋...200g
- イカ...40g
- 春菊...40g
- だし...150cc
- 砂糖...小さじ2
- しょうゆ...小さじ2
- ゆず皮...適量

作りかた

- ① 里芋は皮をむき、乱切りにする。
- ② イカは皮をむき表側に斜め格子の切り目を入れ、短冊切りにする。
- ③ 春菊は熱湯でゆで水にとり、水気を絞って3cmの長さに切る。
- ④ 鍋にだしと里芋を入れ火にかける。煮立ったら弱火にして2分ほど煮て、砂糖・しょうゆで調味し、さらに4~5分煮る。
- ⑤ イカを加え、全体に火が通ったら、火を消す。
- ⑥ 器に盛って春菊を添え、細く切ったゆずを散らす。

公民館コーナー

五箇公民館

今年で四十歳になりました

五箇地区冬期体力づくり教室

1月28日から2月3日までの1週間毎年恒例の「五箇地区冬期体力づくり教室」が開催されました。

今回で40回を迎える本教室は、昭和43年1月に、若者の精神力と体力を鍛えようと五箇中相撲部の「寒稽古」として始まりました。当時は、相撲、柔道、マラソンの3種目でしたが、その後「どうせ身体を鍛えるなら地域ぐるみで」と地区

全域を対象としたものになりました。種目も、バドミントンやバスケットボール、スポンジテニスなど追加や



都万公民館

「世界で一つだけのマフラー」作り感激!

今年度3回目の「ミニ教室」を1月20日(土)に行いました。今回は小学1年生から3年生を対象に指編みでマフラーを編みました。

最初に指導者から編み方の説明を受けてから挑戦です。いざ編み始めると指編みの力加減が難しくなかなうまいきませんでしたが、所々でアドバイスを受けると、みる間に上手に編めるようになりました。途中おやつタイムをはさみながら終わりまで根気よく編みつけ、全員、素敵なマフラーを完成させることができました。

最後に自分達で作ったマフラーを首にかけて記念撮影し、感激いっぱい笑顔で帰っていきました。中には帰ってから早速毛糸を購入して編んでみるという子供もいました。

●「ミニ教室」について

学校の完全週5日制により休みになつた土曜日の午前中に子供達を集めて、「我々の出来ることを出来る範囲で」をモットーにお楽しみの活動をしようとした事業です。



女性の視点
中村地区「元気なまちづくり」

1月27日(土) 中老人福祉センターで、地域づくりアドバイザー関いずみ氏を招いて、「女性の視点から見た元気な地域づくり」講座(意見交換)が行われました。今回は、女性を中心とする活動グループ(生産・加工・活動)を中心に、中村地区・布施地区・五箇地区・都万地区から参加しており、活動の状況や課題の提案をしながらの意見交換となりました。各地区では、昔



ながらの資源を活用した体験、食の文化をそのまま提供する食品など活動は幅広いものがありました。参加された皆さんは、それぞれの特色ある活動を大事にしながら、連携した新たな分野への展開も考えた活動への意欲を見せていました。午後からは、都万山野菜加工場や佐々木家へ訪問し、詳しい活動状況などの意見交換がありました。今後の女性パワーにさらに期待!



1月23日から27日までの4泊5日の計画で、浪合中学校(長野県下伊那郡阿智村)との交流学习が行われました。合併前の旧布施村と旧浪合村は林業を通して交流があり、歴史的な縁や、小学校と併設している小規模校同士という親近感から、平成4年度に交流が始まりました。浪合中の生徒は2年に一度隠岐島を訪れ、布施中の生徒は3年に一度浪合を訪問してスキーを体験しています。昨夏は、浪合中の生徒達が隠岐でヨットやスキューバダイビング等のマリンスポーツを楽しみました。



布施中の生徒は飛行機とバスを乗り継ぎ、23日夕に浪合の合宿センター「遊楽館」へ到着。24日朝に顔合わせ会があり、昨夏の交流で顔なじみになった生徒同士が再会を喜んだ後、スキー交流に臨みました。スキーに初挑戦の生徒達は、慣れない雪に「怖い」と言いながらも、浪合中の生徒に教わりながら滑り方を覚えていきました。25日は、スキー交流に続いて、両校の生徒達が五平餅や鍋の料理を味わいながらの交流会もあり、両校の出し物や感想発表などで親睦を深めました。26日は午前中にスキー交流、涙のお別れ会の後、大阪泊。27日に帰島しました。

布施地区 布施中、長野県浪合
スキー交流

五箇地区 コウノトリ「幸」への
プレゼントに役

「幸」が五箇地区に来て1年3ヶ月が過ぎましたが、今でも地区内の方々に散歩し、えさをついばんでいる姿が見られます。最近では、重栖干拓地から出かけて、農業公社横の苗代田側の田んぼや郡水源地裏の川でよく見かけます。コウノトリは自然と共生する鳥といわれますが、これは、魚やカエルなど自然界の小動物をえさとしているからです。



この「幸」にいつでもえさをやるように五箇支所では那久路のやまめの養殖場の一部を借りて「どじょう」を放し、時々、この「どじょう」を川や池に放流して食べてもらうことにしました。「幸」は、私たちがきれいな川などの自然環境を守ることの大切さも教えてくれています。

2月4日(日)「すいせんまつり」が油井の池園地駐車場で行われました。今年例年になく水仙の開花が遅れておりましたが、油井集落周辺や水仙ロードも徐々に綺麗な花が咲き始めています。今回のイベントは、地域活性化の一環として初めての取り組みであり、来場者の心配をしておりましたが、当日は天候にも恵まれ家族連



れ約200名の来場者があり盛会となりました。ご来場の皆さんは、水仙群生地や油井の池の遊歩道をゆっくり散策しながら、冬の合間の一日を楽しく過ごされたのではないのでしょうか。今後も、地域をあげて元気な集落をめざした活動を展開していきます。

都万地区 すいせんまつり開催

町の元気印 第11回

おおはら てるこ

大原輝子さん

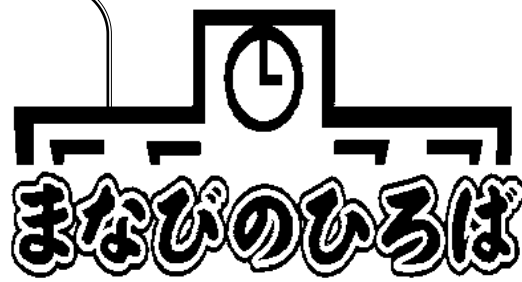


今回の元気印は、99歳の野菜作りの達人、大原のおばあさん。(湊在住)大原さんは毎日、湊と中村にある3箇所の畑へ出かけ野菜作りに精を出します。12歳の時お母さんを亡くした頃から、現在まで毎日畑に通っているとか。大根・ネギ・ジャガイモ・白菜等あらゆる野菜を栽培し、自分で食べる他に島外に暮らす孫たちに送ります。また、近所へプレゼントし、みんなの喜ぶ顔を見ること、声を聞くことが何よりの生き甲斐だそうです。



生年月日は明治41年2月29日。なんと！うるう年。「4年に1回しか誕生日が来ませんわあ(笑)」と、溢れんばかりの笑顔で語る大原さん。目も耳も現役バリバリで、とても100歳前のおばあさんには見えません。その秘訣はと尋ねると、「毎日同じように起き、朝ごはんをしっかり食べ、畑に通うこと。肉はダメ、魚です。とにかく野菜が一番！」。

今、全国的に『早寝・早起き・朝ごはん』をテーマに規則正しい生活と食育が叫ばれていますが、まさに完璧なお手本を見つけました。長寿の島「隠岐の島」の代表選手として、いつまでも長生きし、おいしい野菜を沢山作ってください。ありがとう大原さん。



隠岐の島町教育委員会
TEL 08512-2-2206
Mail okidogo@mx.miracle.ne.jp

西郷小学校では授業の初めの5分間を利用して漢字や計算プリント、詩や教科書の朗読などを行うことで、子どもたちの「基礎的な力」を伸ばす取り組みを推進しています。



元気良く手を上げる子どもたち

1月24日、西郷小学校で全学年の公開授業及び教育講演会が開催されました。西郷、大久、飯田小学校及び西郷中学校では、文部科学省の「確かな学力育成のための実践研究事業」の指定を受け、学力向上に向けた研究を行なっており、今回の公開授業等も同事業の一環として開催したものです。

確かな学力を育むために

西郷小学校公開授業&教育講演会



多くの学校関係者も参加しました

子ども達も先生の「始め」の声がかかると、試験さながらの緊張感で、それぞれのテーマに熱心に取り組んでいました。また、島根大学教育学部長の山下政俊先生を講師に迎え、「子どもにも学ぶ意欲と生きる希望を育てる」と題した教育講演会も開催されました。

山下先生は、子どもの成長と教育に必要な、親を中心とした「大人」の関わり方の重要性について、ご自分の経験談を基に講演されました。中央では様々な教育改革案が徐々にその姿を現し始めましたが、教育現場では指導方法や授業の工夫・研究等、全校を挙げて熱心な取り組みを行なっており、子どもたちの「学力向上」へ向け着実に前進していることを感じました。

指定文化財写真展開催のお知らせ

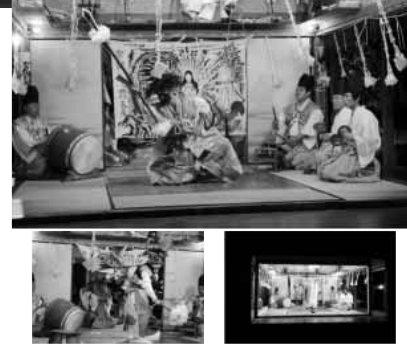
重要文化財佐々木家住宅(釜)は、冬季休館を終え3月1日から開館します。

開館に合わせ、隠岐の島町指定文化財32件をパネルにして展示いたしますので、ぜひご来館ください。

開催期日 3月5日～31日

お問い合わせ

隠岐の島町教育委員会生涯学習課文化振興係
電話 2-2126



としよかん

隠岐の島町立図書館
電話 08512-2-2341
FAX 08512-2-9198
メール s-tosho@mx.miracle.ne.jp
開館時間 10時～18時
閉館日 (月曜日・第3日曜日・祝日)
祝日が月曜、第3日曜と重なった場合は翌日も閉館

ボランティアさんありがとうございました

隠岐の島町図書館では、1月末に蔵書点検を行いました。

ボランティアの皆様のご協力もあり、おかげさまで予定よりも少し早く開館することができました。ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

ボランティアの方の中には、はじめて図書館を訪れた方もおられ、本の数や、種類の多さに驚いておられました。そして、「書棚の整理をしていると、読みたい本がたくさんできてきた、来年は、中高生にもボランティアとして来てもらってはどうか」という意見を頂きました。

今回の蔵書点検では、全部で63冊の資料の紛失が確認されました。昨年に比べ、7冊ほど減少しています。万が一、貸出手続きをせずに持ち帰った本をお持ちの方がいらっしゃいましたら、お早めにお返しください。

視聴覚資料について

隠岐の島町図書館には、CD・ビデオ・DVDなどの視聴覚資料があります。

資料点数は、CDが約600枚、ビデオが約850本、DVDについては約180枚です。

資料は、図書館内で視聴することもできますが、無料で貸出も行っています。貸出期間は1週間、3点まで貸出しています。

最近入った資料では吉田拓郎の“都万の秋”という隠岐の旧都万村をテーマにした曲の入ったCDや、隠岐民謡のビデオ等郷土隠岐に関する視聴覚資料も数点所蔵しております。これからも視聴覚郷土資料として積極的に収集していく方針です。どうぞご利用ください。

スプリングミニコンサート開催予定!

3月7日(水) 18:30～
(30分～40分程度)
ピアノ・マリンバ・クラリネットの演奏会

～ 各地区募金額一覧表 ～

金額につきましては「赤い羽根共同募金」「歳末助け合い募金」の合算を掲載しております。

属託区名	合計	属託区名	合計	属託区名	合計
東町1区	36,500	中の津区	32,000	岸浜区	27,000
東町2区	28,500	先岬1区	15,906	箕浦区	32,000
東町3区	17,000	先岬2区	4,300	加茂1区	61,750
東町4区	16,500	日記区	31,897	加茂2区	69,750
東町5区	22,500	八田1区	23,800	加茂3区	54,451
東町6区	22,600	八田2区	33,100	上元屋区	49,500
東町7区	18,000	田井区	76,500	下元屋区	10,900
東町8区	59,300	県職員住宅第1区	3,500	浜田区	67,820
中町1区	23,600	県職員住宅第2区	5,600	森区	45,540
中町2区	24,000	県職員住宅第3区	24,000	上区	58,400
中町3区	30,000	八田教員住宅区	4,855	郡区	36,900
中町4区	28,400	国公住宅区	40,500	湊区	35,950
中町5区	10,000	諾浦区	27,850	松ヶ浦区	11,000
中町6区	23,000	愛宕区	31,000	西村1区	47,950
中町7区	22,500	神原区	31,500	西村2区	43,500
中町8区	21,000	寿満山区	42,050	伊後区	33,145
中町9区	29,500	釜区	15,500	船原団地	13,700
中町10区	34,000	犬来区	63,900	小計	4,705,895
中町11区	26,000	津井区	15,280	飯美区	51,000
栄町1区	84,650	上飯田区	20,500	北区	52,300
栄町2区	32,800	下飯田区	71,500	南区	61,710
栄町3区	40,000	上東郷区	64,500	家	33,870
栄町4区	53,000	下東郷区	58,300	竹原区	34,750
栄町5区	14,500	小田区	45,000	卯敷区	43,538
栄町6区	30,000	神米区	30,750	小計	277,168
栄町7区	109,198	都万目区	30,500	那久路区	42,770
栄町8区	24,500	近石真杉上区	48,300	小計	79,280
栄町9区	70,000	近石真杉下区	45,408	郡	160,751
栄町10区	9,500	皆市区	50,000	山田区	78,750
西町1区	30,000	倉見区	46,500	苗代区	41,001
西町2区	36,000	雨来区	31,500	南方面	77,570
西町3区	15,500	神谷区	40,500	北方面	130,405
西町4区	34,500	西前の原区	15,500	福浦区	28,734
西町5区	25,000	東前の原区	28,700	長尾区	10,500
西町6区	21,000	芝区	18,047	代	41,310
西町7区	40,500	銚子区	48,000	久見区	99,690
西町8区	31,100	小原田区	30,000	向ヶ丘区	8,500
西町9区	22,000	斉宮上区	22,500	小計	799,261
西町10区	10,500	平区	30,000	蛸木区	102,166
西町11区	25,000	池田区	94,800	津戸区	107,150
西町12区	58,429	有木上組区	21,000	向陽区	30,900
西町13区	36,400	有木中組区	19,000	塩浜区	27,000
西町14区	30,905	有木中里区	31,300	歌木区	35,300
港町1区	30,000	尼寺山区	27,000	釜屋区	116,064
港町2区	32,000	井奥権現原区	27,650	中里区	75,634
港町3区	24,000	大光寺区	27,500	美田区	39,261
港町4区	25,000	クラミ口区	20,500	西里区	35,000
港町5区	27,000	月無下区	40,500	森里区	54,650
港町6区	28,500	月無団地区	6,350	向山区	15,500
港町7区	37,500	平の前区	15,000	上里区	67,170
港町8区	20,500	島の子ハイツ区	1,500	砂子谷区	38,000
港町9区	39,000	荒尾区	16,500	大津久区	12,000
港町10区	5,500	城山住宅1区	12,000	上那久区	74,177
港町11区	53,500	城山住宅3区	2,000	浜那久区	60,700
港町12区	22,500	下西1区	51,800	油井区	38,300
港町13区	9,500	下西2区	66,500	蔵田区	17,486
港町14区	58,000	下西3区	45,500	小計	946,458
港町15区	30,201	下西4区	38,100	合	6,728,782
港町16区	15,000	教職員住宅2区	10,600		
港町17区	33,000	西田区	58,400		
高井区	31,000	今津東区	62,800		
中岬区	54,000	今津西区	57,713		

戸別募金合計額
6,728,782円

(赤い羽根4,222,776円)
(歳末助合2,506,006円)

平成18年度
共同募金運動

募金総額
7,001,354円

ご協力ありがとうございました



赤い羽根共同募金 4,484,848円

戸別募金	4,222,776円
学校募金	135,336円
職域募金	61,697円
街頭募金	64,751円
その他	288円

歳末たすけあい運動 2,516,506円

戸別募金	2,506,006円
その他	10,500円

共同募金ホームページで、募金状況・募金の使い道が閲覧できます。
<http://www.akaihane.or.jp>

福祉
社会福祉法人 隠岐の島町社会福祉協議会
TEL 08512 (2) 0685
FAX 08512 (2) 4517
E-mail info@oki-fukushi.net
URL <http://www.oki-fukushi.net>
No.14

ご意見を募集します
当会では、地域やボランティアの方々と共に隠岐の島町の「福祉」をよりよいものとするための「地域福祉活動計画」(5カ年計画)を策定中です。地域の皆様のご意見をお聞かせください。
【募集期間：平成19年3月1日～3月9日】
くわしくは 社協HP <http://www.oki-fukushi.net> または、隠岐の島町社協 2-0685

福豆
毎年恒例となっており、中条地区の民生児童委員さん・田フォークダンスの会の皆さんによって行なわれました。利用者の方々の皆さんも心待ちにしておられ、優しい顔の鬼に遠慮しながら豆をまき、たくさんの福を頂きました。当日お手伝いをして下さった関係者の皆様、本当にありがとうございました。

中条デイサービスセンターにて

善意の花のコーナー
見舞返しや香典返しとして次の方より多額のご寄付をいただきました。紙上にて厚くお礼申し上げます。
お寄せいただいた浄財は本町の福祉向上のために、有効に活用させていただきます。

(平成19年2月14日までの受付分)

西町	釜屋	中町	栄町	栄町	岸浜	東町	加茂	東郷	釜屋	今津	布施	港町	篤志御礼(金一封)
町	屋	町	町	町	町	町	町	町	高宮	藤野	道坂	町	ごんせ祭実行委員会様
永海	佐々木	永海	山根	増田	斉藤	星川	野津	田中	高宮	野野	ヤス子		
和友	俊子	智福	政子	節子	茂子	成男	岩吉	勝良	一久	タル	子		
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様		

その他
北町 八幡 秀吉 様
東町 浅生 富子 様
都方 高村 泰平 様
東郷 常角 孝之 様
池田 高梨 秋子 様
飯田 井澤 正五 様
港町 中谷 光元 様
栄町 丸谷 一朗 様
有木 田中 二皓 様
都方 斉藤 義松 様
犬来 佐藤 素正 様
東町 松崎 英勝 様
下西 船田 重喜 様
原田 村上 秀正 様
都方 井上 光信 様
北町 岩室 佐太郎 様
加茂 野津 敏之 様
都方 日野 眞之 様

油井(水) 油井水仙グループ様
港町(鉢植) おはなやさんブルーム様



国から地方への税源移譲(三位一体の改革)

税源移譲により、ほとんどの方は1月分から所得税(国税)が減り、その分6月分から住民税(地方税)が増えることとなります。

しかし、税源の移し替えなので「所得税+住民税」の負担は基本的には変わりません。



※ただし、平成19年からの定率減税廃止、老年者非課税措置の縮小等に伴う税負担が生じます。
詳しくは、役場税務課住民税係(2・8574)までお問い合わせ下さい。隠岐の島町ホームページ(戸籍・税務)にも掲載してあります。

身体障害者等の方は軽自動車税を免除します

本町では心身に障害を有する方が積極的に社会活動に参加できるよう軽自動車税を免除しています。

対象者

- ① 身体障害者手帳の交付を受けている方で別表(※)に該当する方
- ② 療育手帳の交付を受けている方で、障害の程度が「A」の方
- ③ 精神障害者保健福祉手帳の交付を受

※別表

障害の区分	障害の級別
視覚障害	1級から3級までの各級及び4級
聴覚障害	2級及び3級
平衡機能障害	3級
音声機能障害	3級(喉頭摘出による音声機能障害がある場合に限る。)
上肢不自由	1級から2級までの各級
下肢不自由	1級から6級までの各級
体幹不自由	1級から3級までの各級及び5級
乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害	
上肢機能障害	1級及び2級(1上肢のみに運動機能障害がある場合を除く。)
移動機能障害	1級から6級までの各級
心臓機能障害	1級、3級及び4級
じん臓機能障害	1級、3級及び4級
呼吸器機能障害	1級、3級及び4級
ぼうこう又は直腸の機能障害	1級、3級及び4級
小腸の機能障害	1級、3級及び4級
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	1級から3級までの各級

けている方で、一級及び二級の障害を有する方

- ④ 戦傷病者手帳の交付を受けている方で、一定の条件に該当する方(一定の条件についてはお問い合わせください)

対象となる車

原則として、身体障害者等の方が所有・運転する軽自動車1台です。(普通自動車税の減免を受けている方は受けられません)

ただし、療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方や、軽自動車の構造が身体障害者等の利用に供するために特別の仕様で製造されている場合は、この限りではありません。

申請方法

免除を希望される方は、①減免申請書に②身体障害者手帳等③自動車検査証④運転免許証を添えて、納期限前7日

(平成19年度は4月19日)までに申し込んでください。
申込先・問合せ先
隠岐の島町役場税務課住民税係
電話(2) 8574

自衛官募集のお知らせ

予備自衛官補を募集します。

一般社会人や学生の方を予備自衛官補として採用し、所定の教育訓練終了後に予備自衛官として任用する制度です。

予備自衛官補とは

普段は社会人としてそれぞれの職業に従事しながら、必要とされる練度を維持するため訓練招集に応じます。有事には防衛招集に応じて出頭し、後方の警備や後方支援等の任務にあたるとともに、特に必要があると認められる場合には、国民保護等招集に応じることとなります。また、平時においても特に必要を認める場合には、災害招集に応じることとなります。

【受付期間】平成19年1月9日(火)から4月9日(月)

【応募資格】

- ・一般公募 18歳以上34歳未満(平成19年7月1日現在の年齢)
- ・技能公募 18歳以上で国家免許資格等を保有する技能に応じ53歳から55歳未満(平成19年7月1日現在の年齢)

【採用試験】

- ・一般公募 試験期日 平成19年4月14日(土)
試験場所 陸上自衛隊出雲駐屯地(出雲市)
- ・技能公募 試験期日 平成19年4月14日(土)から16日(月)の間のいずれか1日に指定されます。

- 試験場所 陸上自衛隊伊丹駐屯地(兵庫県伊丹市)又は陸上自衛隊海田市駐屯地(広島県安芸郡海田町)
- 【合格発表】平成19年5月23日(水)
- 【お問い合わせ先】
自衛隊島根地方協力本部 隠岐の島駐在員事務所(電話2・8351)
お問い合わせ下さい。

【受験受付期間】

平成19年4月2日(月)から4月13日(金)まで

【第1次試験】

試験日 平成19年6月10日(日)
試験地 広島国税局管内では、松江市、岡山市、広島市

試験科目 教養試験、専門試験

【第1次試験合格者発表日】

平成19年7月3日(火)
【受験申込書、受験案内及びパンフレットの請求、問い合わせ先】
広島国税局人事第二課試験研修係
〒730・8521 広島市中区上八丁堀6・30
電話 082・221・9211
またはお近くの税務署総務課へ

国税専門官募集

国税庁では、国税専門官を募集しています。募集要項は次のとおりです。

【受験資格】

- 1 昭和53年4月2日〜昭和61年4月1日生まれの方
- 2 昭和61年4月2日以降生まれの方で次に掲げるもの
 - (1) 大学を卒業した者及び平成20年3月までに大学を卒業する見込みの方
 - (2) 人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

メジロ等を飼うには許可が必要です!!

野鳥を捕獲し、飼養することは原則として禁止されています。隠岐郡内でも数件摘発されているところです。

例外として、メジロは1世帯1羽などの条件を満たしたうえで、役場の許可を受け、捕獲・飼養することができます。詳しくは役場環境課(電話2・8565)、隠岐支庁農林局(電話2・9648)までお問い合わせください。

「県民との協働による島根づくり事業」を募集します!

島根県では、「島根県県民いきいき活動促進条例」により、県民活動の促進と県行政における協働を推進しています。この事業は、NPO法人・住民グループ・企業と行政との協働を一層推進するため、さまざまな分野について、地域貢献につながる実践事業案を募集し、事業化するものです。

皆さんの豊かな発想力や企画力を新しい協働のまちづくりに活かしてみませんか?

【応募資格】 島根県内のNPO法人・住民グループ・企業(個人は対象外)

【応募内容】
1. 自由提案部門(自由な発想による提案)
2. テーマ設定部門

- ① 豊かな環境と快適な暮らしの実現
- ② “しまね”を担う人づくり

【金額】 200万円を上限

【募集期間】 2月19日(月)〜3月20日(火)(必着)

【応募方法】 「事業提案書」及び添付書類を下記の機関に提出。

〒685-8601
隠岐郡隠岐の島町港町塩口24
島根県隠岐支庁県民局地域振興観光グループ
TEL: 2-9797 FAX: 2-9626

「地域づくり中間支援組織活動支援事業」を募集します!

島根県では、地域の自立に向けた活動を支援するために「中間支援組織」が行う活動に対する支援事業の募集を行っています。

【募集内容】
○地域会社や地域NPOの育成
○コミュニティビジネス支援
○地域会社、地域NPO及びコミュニティビジネス組織等のネットワーク化

【金額】 100万円を上限

【募集期間】 2月19日(月)〜3月20日(火)(必着)

【問合せ先】
〒690-8501
松江市殿町1番地

島根県庁地域振興室まちづくり支援グループ
TEL: 0852-22-6453 FAX: 0852-22-6042



2007年3月 隠岐の島町行事予定

日	月	火	水	木	金	土
2/25	2/26 図書館休館 (毎週月曜)		2/28	1 隠岐高校・隠岐水産高校卒業式 春季全国火災予防運動 ～7日	2	3 おはなしのへや 毎週土曜15:00～ (図書館) ブックトークの会 14:00～15:00 (図書館)
4 イング杯バトミントンクラブ 対抗戦 (レインボーアリーナ)	5	6 公立高校入試 隠岐の島町議会3月定例会 (隠岐の島町役場) ～17日まで	7 スプリングミニコンサート 18:30～ (図書館)	8	9	10 キッズフェスティバル 親子サッカー教室 (レインボーアリーナ)
11 第22回 隠岐島後バレーボール協会 長杯大会(9人制) (レインボーアリーナ)	12 隠岐の島町議会3月定例会・一般質問 (隠岐の島町役場)	13 西郷中・西郷南中・五箇中卒業式	14 隠岐の島町議会3月定例会・全員協議会 総括質疑 (隠岐の島町役場)	15 人権相談 13:00～15:00 (農村環境改善センター) 中村中・布施中・都万中・布施小卒業式	16 加茂小卒業式	17 緩和ケアを考える 集い 13:00～16:30 (ふれあいセンター)
18 隠岐養護学校卒業式 スポーツ団体調整会議及び総合型スポーツクラブ 研修会 (レインボーアリーナ)	19 飯田小卒業式	20 布施・加茂・飯田以外の小学校卒業式	21 春分の日 閉校式(今津小)	22 年金相談 13:00～16:30 (ふれあいセンター) 県知事選挙告示	23 隠岐法律相談センター(要予約) 13:00～15:00 (文化会館) 年金相談 9:30～12:00 (ふれあいセンター) 閉校式(下西小)	24 閉校式(加茂小)
25 隠岐島後バレーボール協会 長杯(6人制) (レインボーアリーナ)	26	27	28 津戸花生神社 祭礼風流(百手祭り) 磯小学校竣工式	29	30 県議会議員選挙告示	31

各種相談窓口

- 児童・女性・母子相談：：隠岐福祉事務所 TEL 2-9810 平日8：30～17：00
- 生活保護相談：：隠岐福祉事務所 TEL 2-9708 平日8：30～17：00
- 保健所相談窓口：：隠岐保健所 TEL 2-9701
- 島根いのちの電話：：社会福祉法人島根いのちの電話事務局 TEL 0852-32-5985 毎日 9：00～22：00
- 警察の相談窓口電話：：被害者相談 TEL 0120-556-491
- 悪質商法 TEL 0852-27-4649
- 性犯罪 TEL 0120-110-267
- ストーカー TEL 0852-24-9110

隠岐法律相談窓口予約受付：：TEL 0852-21-3450
※前日17：00までに予約が0件の場合は開催しませんのでご了承ください。

お気軽に
ご相談下さい!!

平成19年度

広報誌に掲載する広告を募集します!

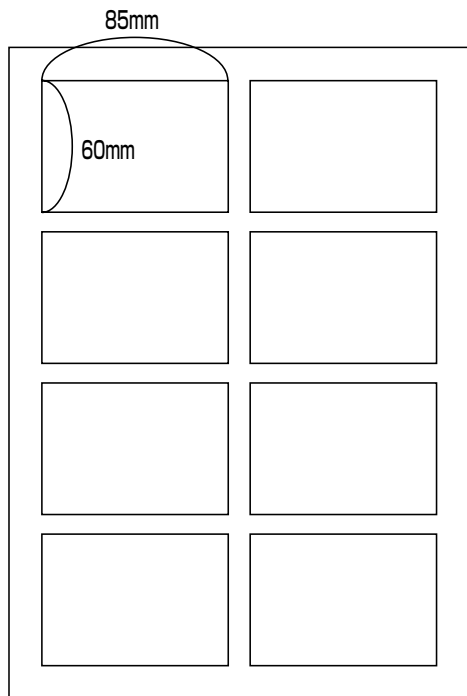
●隠岐の島町では、企業等の活性化及び町の財政収入の確保を図るため、本誌「総合誌隠岐の島」(毎月最終木曜日発行、7,200部)に掲載する有料広告を募集します。

「総合誌隠岐の島」は、隠岐の島町内に全戸配付するほか、島外の読者・各公共機関等に送付していますので、広告利用においては高い効果が期待できます。

なお、ご応募にあたっては、下記の事項及び資料をよくご覧になって、申し込まれるようお願いいたします。

●広告の規格、掲載料など

- 掲載開始 平成19年5月号(4月26日発行)～
- 1枠当たり縦60ミリメートル横85ミリメートル、各号につき8枠以内
- 印刷は一色刷り
- 掲載枠数を超過する申し込みがあったときは町内に事業所等を有する者を優先し、先着順により掲載を決定
- 広告掲載料
町内に事業所等を有する者の広告・1枠1月につき6,000円
町外に事業所等を有する者の広告・1枠1月につき7,000円
※但し、年間連続掲載の場合は、広告掲載料を15%割引きます。



●掲載できない広告

- (1) 町の公共性、中立性及びその品位を損なうおそれのあるもの
- (2) 法令又は条例若しくは規則に反し、又は反するおそれのあるもの
- (3) 公序良俗に反し、又は反するおそれのあるもの
- (4) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)第2条に掲げる営業に該当するもの
- (5) 貸金業の規制等に関する法律第2条の適用を受ける業種に該当するもの
- (6) 政治活動、宗教活動、個人、団体等の意見広告を内容とするもの
- (7) 誇大表示、不当表示その他表現方法等が不適切なもの
- (8) その他町長が広告掲載として適当でないと認めるもの

●お申し込みの流れ

- (1) 広告の申し込みは、「総合誌隠岐の島広告掲載申込書」に必要事項を記載のうえ、広告案を添えて、掲載希望号の発行日の前月5日までに総務課広報広聴係まで提出してください。
●提出物・・・申込書、広告案(どちらも申込者が作成・負担)
- (2) 隠岐の島町は、提出された広告案の内容を審査し、「総合誌隠岐の島広告掲載決定通知書」または「総合誌隠岐の島広告非掲載決定通知書」により、掲載の可否をお知らせします。審査に合格した応募枠数が募集枠数を越えたときは、町内に事業所等を有する者を優先し、先着順により決定します。
- (3) 「総合誌隠岐の島広告掲載決定通知書」により掲載可となった場合は、広告の電子データを発行月の5日まで(当日が休日であった場合には、休み明け)に総務課広報広聴係まで提出してください。なお、広告の電子データの作成は申込者の負担により行ってください。
●電子データの提出方法・・・磁気ディスク・USBメモリまたは電子メールでの送付
※磁気ディスク・USBメモリは、掲載作業後に返還します。
- (4) 広告掲載料は、「総合誌隠岐の島広告掲載決定通知書」に同封する納入通知書により、指定期日までに指定金融機関等で納入し、納入したことを総務課広報広聴係までご連絡ください。
- (5) 広告掲載料の納入を確認後、提出された電子データを広報に掲載し、印刷発行します。

※申込書は隠岐の島町ホームページ、または役場総務課広報広聴係にあります。

※その他取扱要項など、詳しくは下記までお問い合わせいただくか、隠岐の島町ホームページをご覧ください。

●お申し込み・お問い合わせ先

〒685-8585
島根県隠岐郡隠岐の島町城北町1番地
隠岐の島町 総務課 広報広聴係
TEL：(08512) 2-2111
FAX：(08512) 2-6005
E-Mail：jouhou@town.okinoshima.shimane.jp



雪中花

油井の池園地に咲く水仙です。雪の中でも春の訪れを告げる「Snowdrops」水仙の別名は「雪中花」。ただ、暖冬の今年はその名も「Snowdrops」。



迫力満点の太鼓演奏

隠岐観光の発展を願う 隠岐太鼓初打ち奉納祈願祭

2月11日（日）、隠岐観光の発展を願う「第七回隠岐太鼓初打ち奉納祈願祭」が、隠岐国分寺本堂で行われました。

午前10時から始まった祈願祭では、隠岐観光や隠岐太鼓保存会の発展を祈念する重栖住職の読経、観光協会や商工会、町の関係者などの来賓・役員の焼香、般若湯献盃授与などがあり、続いて隠岐太鼓保存会による初打ち演奏が奉納されました。

打ち初めの曲は「隠岐大漁太鼓」。冬の荒海の様子や漁師の動きなどを表現した勇壮な曲で、息を切らせ汗だくになりながらの力いっぱい演奏が国分寺の境内に響き渡っていました。

総合誌隠岐の島3月号

(通算第29号)

■編集・発行

隠岐の島町役場総務課広報広聴係
〒685-8585

島根県隠岐郡隠岐の島町城北町1番地

TEL(08512)2-2111 (代表)

FAX(08512)2-6005

■ホームページ

<http://www.town.okinoshima.shimane.jp/>

■Eメール

jouhou@town.okinoshima.shimane.jp



20日から21日にかけて実施され、これまで5連泊で大変な負担を強いられていた受験生も安心して試験を受けられたようです。たとえ遅咲きでも、わが町の若桜たちがきれいに咲いてくれることを祈っています。

(安)

幸が不幸か、今年の冬はせっかく取り替えたスタッドレスタイヤも活躍することなく終わりそうです。これから寒くなるぞ、と思っていたらいつの間にか梅が咲く季節になっていったという印象です。

梅と言えば次は桜。暖冬の影響で各地の梅の開花は早めたそうですが桜の開花も同じで、今年は例年より4〜5日は早く咲くのではないかと思います。

ニュースフラッシュのページでも取り上げていますが、今年からセンター試験が隠岐高校で行われることになりました。今年の試験は1月